

日本動物看護学会第3回大会 プログラム

会 期： 平成8年11月30日（土） 14：00－17：30

会 場： 慶應義塾大学三田キャンパス 大学院校舎313教室（1階）

大会日程

14：00 会長挨拶

日本動物看護学会会長 今道 友則

14：05 シンポジウム I

「動物看護師の様々な職域からのレポート－Part II－」
（動物病院・産業動物・野生動物・動物園・実験動物からの
報告）

座 長：大和田 一雄（山形大学医学部）

幅田 慶子（センターゲイル動物病院）

発表者：小松 千江（新ゆりがおか動物病院）

吉村 亮子（あいち動物病院）

15：30 総 会

「平成8年度収支報告及び平成9年度事業計画及び予算」

16：00 シンポジウム II

「動物看護師に関わる法律問題の検討」

座 長：辻 弘一（辻動物病院）

法律アドバイザー：高見沢 重昭 弁護士

（高見沢法律事務所）

17：30 閉 会

17：45 懇 親 会

動物看護師の様々な職域からのレポート パート2

動物病院から

新ゆりがおか動物病院 小松 千江

『動物病院での動物看護師の仕事とは』

○動物病院の日常的な仕事

- ・診察及び治療……来院によるもの、往診によるもの
- ・予防業務
- ・検査……血液、便、尿、X r a y、皮膚、病理、超音波、内視鏡など
- ・動物相談……来院によるもの、電話によるもの
- ・薬の管理
- ・文書作成
- ・その他

○動物病院の診療科目

- ・内科、外科、整形外科、歯科、眼科、産科など

○診療する小動物

- ・犬、猫、鳥（小型～大型）、エキゾチックアニマル（ハムスター、モルモット、ウサギ、フェレット、リスなど）、野生動物

○動物病院の動物看護師の仕事

獣医師

↑ [補助]

:

:

[看護、ふれあい]

動物看護師……………→動物

:

:

↓ [コミュニケーション]

飼い主

(クライアント)

【具体例】

入院動物の看護、動物の保定、病院内外の衛生管理、診療・手術の準備及び助手、獣医医薬品の調剤、受付、事務、在庫管理、食餌管理、しつけ、動物相談など

○仕事を通して考えること

仕事を始めて、例えば1年目の動物看護師と5年目の動物看護師とでは、仕事に対するに要求水準が違ふことや、動物病院によって仕事の内容もまちまちあること、また、動物看護師という職業が社会において、まだまだ認知されていないことなどである。

↓

◎動物看護師同志のコミュニケーションの場が多く必要である。

◎動物看護師をとりまく獣医師はもとより、専門学校、獣医科大学や関係団体の協力を得て、より努力し、信頼を得て社会の中で動物看護師が向上していくことが大切である。

動物看護師の役割

— 動物病院からの報告 —

動物看護師 吉村 亮子

動物病院での看護と動物園や研究所でのそれを比べてみたとき、一番の違いは飼い主の存在です。動物病院での動物看護は獣医師と動物看護師とのよい連携、そして何よりクライアントの理解と協力がなければ成立しないからです。治療や看護の必要な動物が病院にくる場合は、必ず飼い主（以下クライアント）が存在します。クライアントはその傷病動物の所有者で、言葉を話す事ができない動物の代弁者でもあります。そしてその動物に対する治療法もクライアントの意志に左右されます。病院が傷病動物に対してできる事は、その動物が傷病からより早く立ち直り、健康的な生活ができるようになる手助けをすることですが、そのために必要なファクターとしてクライアントの精神的、経済的負担も無視することはできないでしょう。そんな状況の中で動物看護師はどんな役割を担っているかを考えてみると、実は非常に複雑で、重要であることが感じられます。

まず1件のクライアントが来院した場合を例にとってみましょう。クライアントが病院に来たとき1番最初に接する人が受付の看護師です。クライアントは具合の悪い動物を抱えて不安になっている事が多く、このような時看護師はまずクライアントをリラックスさせる事が重要です。クライアントが不安や疑問を感じてしまうと動物はその感情を鋭く察知し、病院やスタッフに対して警戒心を強くします。そのようなストレスを動物にかけさせないためにも、クライアント自身が不安を感じないようにフォローをする必要があります。

診察室内では看護師が問診と身体チェックをします。問診ではクライアントが訴えたいことを看護師は的確に聞きだし、もれなく獣医師に伝えなければなりません。またクライアント自身が気がついていない動物の異常もチェックしておく必要があります。この時看護師ははじめて動物に接するわけですが、動物の性質を理解し、警戒をさせずリラックスさせるように心がけます。そして獣医師の診療です。診断治療は獣医師の仕事ですが、実際の治療には看護師が補佐をすることが多くあります。獣医師が治療し易いように器具や用具を整え、獣医師の指示の元に実際に治療を施す場合もあります。そして最後に受付にて自宅での管理介護の指導と会計を行います。

こうしてみると看護師は傷病動物以外にクライアントとも多く接している事がわかります。看護師はあるときは獣医師の立場に近くなってクライアントの治療に対する理解を得、ある時はクライアントの立場に近づき精神的な苦痛を少しでも和らげてあげるというムードメーカー的な要素を持っています。そして、もし看護師がいなかった場合は、獣医師のみでこれらのたくさんの業務をこなさなければならず、高度化する診断治療に必要な獣医師各々の貴重な時間を割かれ、

結局医療の質に影響を及ぼしかねません。よって、看護師が看護に関する深い知識を身につけスタッフとして動物病院に存在する事は、その病院の医療の質を高め、結果として本来の目的である動物看護の質の向上につながると言えるでしょう。このような事実はテーマである動物看護とはかけ離れているようにも思われますが、実際にはこのようなバックグラウンドがあってはじめて動物の看護が存在しているというのが動物病院の看護の実態です。これからの獣医医療の中で、看護師が如何に知識を身につけ、看護にあたっていくかは、病院がクライアントと動物にどのような医療提供ができるかに大きく影響する事と思われます。看護師自身の意識の向上と、知識を得るための場が今後益々必要となるでしょう。

あいち動物病院 愛知県江南市赤童子町桜道62
TEL 0587-53-5755 FAX 0587-53-6621

第2回 総会次第

- 1、議長団選出
- 2、平成8年度事業報告
- 3、平成8年度会計報告
- 4、平成9年度事業計画
- 5、平成9年度予算案
- 6、その他

第2回 総会資料

1号議案 平成8年度事業報告

- ①発足総会 平成7年12月9日(土) 日本獣医畜産大学
シンポジウム 「日本の看護婦制度・ナイチンゲール看護論は動物看護に有効か」
竹内吉夫先生(「総合看護」編集長)ほか
教育講演 「人と動物の関わり」の中の動物看護師の役割
林 良博先生(東大教授)

- ②第2回大会 平成8年6月29日(土) 慶応義塾大学三田校舎
教育講演 「動物の心をどう考えるか」 渡辺茂先生(慶応大学)
シンポジウム 「動物看護師の様々な職域からのレポート」

- ③会誌 「ANIMAL NURSING」VOL.1 発行

2号議案 平成8年度会計報告 別紙

3号議案 平成9年度事業計画

- ①大会開催 2回
- ②研究会・分科会開催(地方開催含む) 2回
- ③会誌発行 2回予定、NEWS LETTER発行 随時
- ④その他

4号議案 平成9年度予算案 別紙

5号議案 英語名称募集、ロゴマーク募集、アンケート調査、その他

96年度決算

	科 目	収 入	支 出
収入の部	年会費	¥688,000	
	広告料	¥170,000	
	大会参加費	¥504,500	
	銀行利息	¥17	
	雑収入	¥14,000	
	短期借入金	¥30,000	
支出の部	印刷費		¥227,071
	会議費		¥15,022
	交通費		¥40,000
	借入金返済		¥30,000
	消耗品		¥61,334
	大会補助費		¥207,500
	通信費		¥133,370
合 計		¥1,406,517	¥714,297
繰越残高			¥692,220

97年度予算案

	科 目	収 入	支 出
収入の部	前年度繰越	¥692,220	
	年会費	¥400,000	
	広告料	¥200,000	
	大会参加費	¥500,000	
支出の部	印刷費		¥500,000
	会議費		¥150,000
	講演料		¥300,000
	交通費		¥150,000
	消耗品		¥150,000
	通信費		¥300,000
	事務費		¥240,000
	雑費		¥2,220
合 計		¥1,792,220	¥1,792,220